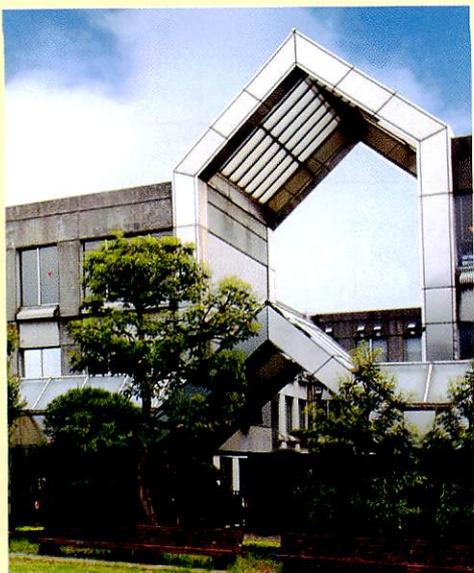


## スポーツ史学会第27回大会 プログラム

| 2013年11月30日(土)  | 2013年12月1日(日)   |
|---|---|
| 受付開始 11:30  | 受付開始 8:45   |
| 一般研究発表① 12:00~12:25<br>座長：綿貫 慶徳（上智大学）<br>阿部 武尊（一橋大学大学院）<br>労働組合日本プロ野球選手会の労使交渉過程<br>-1985-1993年を中心に-                 | 一般研究発表⑨ 9:00~9:25<br>座長：松本 芳明（大阪学院大学）<br>菅井 京子（びわこ成蹊スポーツ大学）<br>R. ボーデの「表出体操の本質について」にみられるL. クラーゲスの影響について（その2）<br>-L. クラーゲスの『表出学の基礎理論』を手掛かりにして- |
| 一般研究発表② 12:25~12:50<br>座長：坂上 康博（一橋大学）<br>中村 哲也（早稲田大学）<br>戦後日本における大学スポーツの変容<br>-1970年代の「大学運動部の危機」に着目して-              | 一般研究発表⑩ 9:25~9:50<br>座長：來田 享子（中京大学）<br>黒須 朱莉（一橋大学大学院）<br>1968年第67回IOC総会における「オリンピック休戦」に関する決議<br>-アベリー・ブランデー・コレクション史料とIOC理事会とNOCs会議議事録を中心に-     |
| 一般研究発表③ 12:50~13:15<br>座長：福地 豊樹（群馬大学）<br>谷釜 尊徳（東洋大学）<br>近世における東北地方の庶民による伊勢参宮の旅のルートと歩行距離<br>-旅日記（1691~1866年）の分析を通して- | 一般研究発表⑪ 9:50~10:15<br>座長：中房 敏朗（大阪体育大学）<br>青沼 裕之（武蔵野美術大学）<br>イギリス・フットボール協会（FA）結成の意図はどこにあったのか？  |
| 一般研究発表④ 13:15~13:40<br>座長：大川 信行（富山大学）<br>小谷 究（日本体育大学大学院）<br>日本におけるバスケットボール競技のバリエーションに関する史的研究                        | 一般研究発表⑫ 10:15~10:40<br>座長：遠藤 保子（立命館大学）<br>今野 和志（筑波大学大学院）<br>アメリカスポーツの「人種統合」と黒人中産階級<br>-シカゴ黒人雑誌『エボニー』を手がかりとして：1945-1967年-                      |
| 休憩 13:40~13:55  | 休憩 10:40~10:50  |
| 一般研究発表⑤ 13:55~14:20<br>座長：松尾 順一（東洋大学）<br>張 巧鳳（日本体育大学大学院）<br>日本における「エアロビクス」概念の変容に関する一考察<br>-エアロビックスダンスの導入過程に注目して-    | 一般研究発表⑬ 10:50~11:15<br>座長：木下 秀明（元日本大学）<br>及川 佑介（東京女子体育大学）<br>スポーツ資料収集家・田尾栄一に関する一考察  |
| 一般研究発表⑥ 14:20~14:45<br>座長：早瀬 健介（東京女子体育大学）<br>坂中 勇亮（中央区体育協会）<br>総合型地域スポーツクラブに関する研究の動向<br>-1995年から2013年に着目して-         | 一般研究発表⑭ 11:15~11:40<br>座長：中村 民雄（福島大学）<br>坂本 太一（岐阜薬科大学）・矢野 裕介（日本体育大学）<br>近代日本における剣道用具の変遷-特許史料に着目して-  |
| 一般研究発表⑦ 14:45~15:10<br>座長：竹村 匡弥（ISC21）<br>松本 彰之（日本体育大学大学院）<br>近・現代における奉納相撲についての史的考察<br>-奉納子供相撲の起源に着目して-             | 一般研究発表⑮ 11:40~12:05<br>座長：秦 真人（愛知学泉短期大学）<br>鈴木 直樹（下郷中学校）<br>野球における投手のオーバースローの運動技術史<br>-技術書・指導書を手がかりとして-                                       |
| 一般研究発表⑧ 15:10~15:35<br>座長：石井 隆憲（東洋大学）<br>岡 雄生（世田谷区役所）<br>植民地下朝鮮における日本相撲<br>-韓国併合前後に焦点をあてて-                          | 休憩（昼食）（理事会） 12:05~13:10   |
| 休憩 15:35~15:50  | 一般研究発表⑯ 13:10~13:35<br>座長：松浪 稔（東海大学）<br>脇田 泰子（相山女学園大学）<br>オリンピック放送の原点-ラジオと1924年のフランス-   |
| シンポジウム 15:50~17:50  | 一般研究発表⑰ 13:35~14:00<br>座長：松浪 稔（東海大学）<br>玉置 通夫（元甲南女子大学）<br>戦時下のプロ野球研究-昭和19年まで活動できた要因-  |
| テーマ：『ドイツスポーツ史研究の今日的課題』  | 一般研究発表⑱ 14:00~14:25<br>座長：掛水 通子（東京女子体育大学）<br>木村 華織（東海学園大学）・來田 享子（中京大学）<br>日本水上競技連盟における女子部委員会の役割<br>-規約及び競技規程の検討を中心に-                          |
| シンポジスト：楠戸 一彦（環太平洋大学）  | 一般研究発表⑲ 14:25~14:50<br>座長：高橋 幸一（元山形大学）<br>佐々木 陸摩（早稲田大学スポーツ科学研究科）<br>日本におけるスポーツ医学の成立過程-小笠原道生を中心にして-  |
| 小原 淳（和歌山大学）   | 一般研究発表⑳ 14:50~15:15<br>座長：稲垣 正浩（ISC21）<br>藤田 直人（法政大学）<br>武家鞆に関する考察-鎌倉の鞠庭に遊ぶ身体を視座にして-  |
| 船井 廣則（名古屋経済大学短期大学部）   | 総会 15:30~16:30  |
| 司 会：松尾 順一（東洋大学）   |   |
| 情報交換会 18:15~20:15<br>【キャンパス食堂】  |   |

- 一般研究発表は、発表18分 質疑応答7分（一鈴16分（発表終了2分前）、二鈴18分（発表終了）、三鈴25分（質疑応答終了））
- 学会大会の円滑な運営のため、PCを使用して発表する場合は、事前にデータを移していただきます。
- 大会当日、発表者およびシンポジスト用の受付を用意します。受付の際、学会大会用PCにデータの移動をお願いします。
- 当日配布資料がある場合は、100部用意して、受付にご提出ください。



# スポーツ史学会 第27回大会

会 場：東洋大学朝霞キャンパス 講義棟3階 314教室  
期 日：2013年11月30日(土)・12月1日(日)  
大会参加費：一般4000円 学生2000円  
主 催：スポーツ史学会

## 一般研究発表

**日本及び諸外国のスポーツ史に関する発表20題**

11月30日(土)12時～15時35分(予定)

12月 1日(日) 9時～15時15分(予定)

## 公開シンポジウム (日本スポーツ体育健康科学学術連合協賛)

**テーマ：「ドイツスポーツ史研究の今日的課題」**

### シンポジスト

楠戸 一彦氏 (環太平洋大学)  
「ドイツ中世スポーツ史の立場から」

小原 淳氏 (和歌山大学)  
「西洋社会史の立場から」

船井 廣則氏 (名古屋経済大学短期大学部)  
「東ドイツスポーツ史の立場から」

司 会：松尾 順一 (東洋大学)

日 時：11月30日(土)15:50～17:50 (予定)

※シンポジウムは一般公開で参加費は無料です。

※聴講をご希望の方は当日会場までお越しください。

※お車でのご来場はご遠慮ください。

アクセス：東部東上線朝霞台・JR武蔵野線北朝霞から徒歩10分

大会事務局 〒351-8510 埼玉県朝霞市岡48-1

東洋大学 ライフデザイン学部健康スポーツ学科 松尾研究室着付  
スポーツ史学会第27回大会事務局

TEL：048 (468) 6358 E-Mail: jmatsuo@toyo.jp

